

公立大学法人青森県立保健大学研究推進ポリシー

公立大学法人青森県立保健大学は、「地域社会への貢献」という使命に基づき、保健、医療及び福祉の知の拠点として、研究を推進し、その成果を広く社会に還元し、県民の健康と生活の向上に寄与する。

そのために、大学院健康科学研究科、健康科学部4学科、ヘルスプロモーション戦略研究センター及びキャリア開発センターが連携し、新しい知と価値の創造に向けて、多様な専門性を生かした学際的・俯瞰(ふかん)的な視点から研究を推進する。

これらの目的を達成するために、以下の取組を行う。

1.研究基盤の強化

① 研究者の育成と研究力の向上

- 大学院生を含めた若手研究者の育成のために、大学院と連携しながら研究参画の機会をできるだけ提供し、大学全体としての研究力の向上につなげる。
また、本学の若手研究者が行う研究で、科研費獲得に向けた研究実績となる研究活動を支援する。
- 研究者の交流の機会を充実させ、学内外の研究者及び実践者の連携による創造的な研究活動を支援する。

② 研究環境の整備

- 研究環境を点検し、中長期的な視点から研究備品などの充実や維持を計画的に行う。
- 研究倫理、不正行為防止などについて、諸規定の整備・運用とともに、コンプライアンス教育・研修機会の充実を図る。また、不正を起こさせない組織風土形成のため、全教職員及び大学院生に対し啓発活動を行う。

③ 研究資金の獲得と効果的な活用

- 外部研究資金の獲得のための支援を行うとともに、研究費の効果的な執行に向けた取り組みを行う。
- 運営費交付金による研究費の配分については、戦略的に競争的な研究費枠などを設け、研究成果の創出と研究力の向上につなげる。
- 外部機関等の持つ技術等に対する指導、評価、助言、試作等の技術指導及び外部機関等が行う事業に関するコンサルティング等を実施する。

2.研究成果の還元

- 論文刊行および学会などでの発表を推進するための各種支援を行う。
- 大学の学術誌及び研究発表会などでの発表の質と量の向上を図る。
- キャリア開発センターと連携して、研究で得られた成果を専門職の実践のためのエビデンスとして活用できるように地域に還元する。
- 地域住民の方に本学で行われている研究に理解をしていただけるような機会をつくるとともに、生活者に役立つ情報を提供する。

令和4年4月1日制定

令和5年1月12日改正